



勇気³

第3学年通信 第5号
発行日 令和元年9月20日(金)

練習から全力を出すのが
3年生のいいところ

学校以外でも…交通安全 自分の身は自分で守るためにも
(車の危険運転が増えています)

自転車の乗り方…夜は必ず電気をつける！
(暗い中で車を運転している人に気が付いてもらうため)
二人乗り・ながら運転(スマホ・音楽など)は危険！！
交差点では一時停止、安全確認！ヘルメットを着用しよう！



3年生の、2学期

学年主任

夏休みが終わり、もう学校のある生活にも慣れてきました。夏休み中は、多くの生徒が学校説明会等に参加し、保護者の方にも報告書へのご記入をいただきました。ご協力ありがとうございました。今後の進路面談に活用させていただきます。また、秋の学校説明会にも積極的な参加、その後の報告書の提出を引き続きよろしくお願いいたします。(私立の生徒募集要項⇒入試の説明書や、願書⇒入試の申込書がもらえるのはここです。)進路について詳しくは、進路説明会資料をごらんください。

さて、3年生の2学期とは、どんな時期なのか、先日の学年集会で生徒たちに話したことを伝えます。生徒たちは、みんな熱心に話を聞いてくれました。

(1) 3年生の2学期の行事

- ① 9月20日(金) 進路説明会
- ② 10月 3日(木) 中間テスト(テスト範囲表配付済み)
- ③ 10月19日(土) 蒼依祭(参観とお弁当のご協力、お願いします。)
- ④ 10月30日(水) 学習診断(入試の練習となる模擬試験)
- ⑤ 11月 1日(金) 依知検定
- ⑥ 11月11日(月) 3年生期末テスト
12日(火) ※3年生は進路に向けて成績を早く決定するため、
1, 2年生より早く実施します。
- ⑦ 11月28日(木)～12月3日(火)
3年生2学期の成績(1, 2学期を総合して点数化)を確認しながらの三者面談
- ⑧ 12月24日(火) 終業式
※進路希望調査票の提出等については、進路説明会資料を参照してください。

(2) 2学期にがんばること

- ・ 学習(授業・日常生活)「進路を意識した学習」
- ・ 行事(蒼依祭)「背中で語る」学校のリーダー
- ・ 進路(説明会・個別相談・願書入手)
- ・ 穏やかな日常生活
 - 遅刻・欠席・早退をなるべくしない。
 - 人に迷惑をかけず、人の役に立つことをする(係活動・清掃・給食当番など)
 - 誰とでも、協力
 - 思いやりある行動・正しい言葉づかい
 - あいさつ



合唱練習中

全校集会にて～クラス合唱曲発表順決定

(3) がんばっている仲間たち

- ・ まだ部活動や、校外での活動を続けていて、学習と両立できるようにがんばっている仲間
- ・ 朝練がなくなっても、遅刻することなく、8:15着席・自習に余裕で間に合っている仲間
- ・ 毎日のように授業の予習をして、自分の力を伸ばしながら、仲間のために教えている仲間
- ・ 自分のことで精いっぱい、という時でも、思いやりを持った行動を忘れなかったり、すすんで人の役に立つことを引き受けてくれたり、行事に向けてリーダーに立候補したりしている仲間

(4) 「決断」

進路希望の実現に向けて、不安や焦りはあるけど…
やった方がいいことを、やる。と決める。(帰ったらすぐに支度をする・勉強する)
やらない方がいいことは、やらない。と断つ。(ダラダラスマホ・夜更かし…)
やると決めたことを邪魔することは、断つ。
やらないことを決めるのも、決断。

(5) 「ホーム依知中」

体育大会の終わりの体育大会担当の先生の名言。進路に向けても大事なこと。
一人ひとりが力を発揮しやすい集団となってほしい。
「あの人ががんばっているな」→「自分もがんばろう！」
「あの人、いつもより暗い表情しているな」→「声をかけてみよう！」
「授業、つまらないな」→「みんなががんばっているから我慢してがんばろう！」
「休み時間、もっと友達と話していたいな」
→「授業に遅れたらみんなに迷惑がかかるからチャイム前準備着席しなきゃ！」 など



(6) 「チーム依知中」

体育大会で、先生方、後輩たちに見せた、
「練習から全力」「応援もすごい」という「さすが3年生！」という姿を、
蒼依祭でも見せてほしい！
みんなが進路に真剣に向き合って、みんなが進路希望を実現できるような、
チーム依知中
それをみんなが支え合い、高め合う、
ホーム依知中
を、この3年生でつくっていきましょう！！

卒業式まであと、173日。
中学生として、かけがえのない時間を、
悔いが残らないように過ごしていきましょう。

長時間スマホで成果帳消し？！

女子高生は小中学校の授業時間の2.5倍、スマホを使う

「1日平均5.6時間」 何を示す数字か分かりますか。

情報セキュリティ会社・デジタルアーツ（東京都）が2018年に調べた「女子高校生の1日のスマートフォン平均使用時間」です。1年間では2044時間になります。

この数字がどれほど大きいかわかるイメージできますか。

2020年度から教育改革で、小学4～6年生、中学生が1年間に学校で学習する総時間は小学校は約761時間、中学校は約846時間です。

つまり、平均的な女子高校生は、小中学生が1年間に学校で勉強するおよそ2.5倍の時間、スマホを使っていることになるのです。

スマホを使っても特に悪影響がなければいいのですが、そうはいきません。

仙台市教育委員会が7万人の小中学生を対象に行った学力調査（仙台市標準学力検査2013）などでは、平均正答率とスマホアプリの使用時間の負の相関が明らかとなりました。小、中学校ともスマホの使用時間が長い子ほど平均正答率が低くなるのです。特に中学校で4時間以上スマホを使用している生徒の正答率の落ち込みが顕著でした。

この記事を読んだ私の感想

まずは大人(自分)が気を付けたい、と思いました。

明らかに、スマホをいじっていないときの自分の方が、集中力とその持続力が高かった気がします。年齢のせいだけではないと思います。

また、私はスマホがなかったときは、ちょっとした時間があるときは、読書などをし、自分の見聞を広げていました。今は、その時間が減ってしまっています。

せめて我が子の前ではなるべくいじらないようにしたい、我が子が話しかけてきたときは、絶対にスマホの画面ではなく、顔を見て話を聞きたい、と思いました。

将来、子どもに「やりすぎ!!」と注意した時に、

「パパだってやってるじゃん!」と言われちゃ、返す言葉もないので...



まさか!?

「勉強もスマホも2時間以上」より「勉強もスマホもやらない」方が好成绩

中学生の数学の平均点との関係について、家庭（平日）での平均勉強時間とスマホアプリの使用時間でクロス集計をしたところ、

自宅で2時間以上勉強する子のうち、

スマホを持っていない子の平均は71点でしたが、
スマホの使用時間が長くなるにしたがって平均点はほぼ下がり、
4時間以上使用すると平均は59点でした。

また家で勉強をしていない子では、

スマホを持っていない子の平均は61点でしたが、
スマホを4時間以上使用すると平均は45点まで下がりました。



驚くのは、

家で勉強しないけどスマホを持っていない子の平均（61点）が、
家で2時間以上勉強して、スマホも2～3時間使用する子の平均（60点）
を上回っていたことです。

家で2時間以上も勉強した成果はどこに行ってしまったのでしょうか。

この調査は数年にわたり継続して行ったため、次のような結果も出ました。

スマホを使っていなかった子がスマホを使い始めると成績は急降下。

また、

スマホを使っていた子がスマホをやめると、成績は徐々に上昇する
という結果も出ました。

以上のような結果から、脳科学者として著名な川島隆太・東北大教授は「スマホが脳に害を及ぼすことは、疑いようがない」とまで言っています。

この調査では、スマホの使用時間を1時間未満にすれば学力への悪影響が少
ないことも明らかになっています。でも、1時間未満に抑えるのは至難の業でしょう。

そこで現実的な方法を提案します。まずは、せめて1日30分スマホの使用時間を削り、その分は本や新聞を読んではいかがでしょうか。1日30分。でも1年間続ければ、なんと小学校高学年と中学校の国語の総授業時間を大きく上回るのです。